

県議会開会中

一般質問での質疑

Q1 佐賀駐屯地

中国やロシアなど横暴な近隣諸国に有事を起させないあらゆる努力が必要。佐賀駐屯地開設を含め、自衛隊戦力強化を望んでいる。
政策部長 令和7年6月開設の予定通り工事が進捗している。

Q2 九州佐賀国際空港の滑走路延長及び平行誘導路整備

滑走路延長と平行誘導路は県と国、双方にメリットがある。

地域交流部長 有明海漁業者への影響を考慮すると、同時の工事が望ましいと考えている。

Q3 横断歩道橋

今後の社会情勢や周辺環境の変化に合わせて在り方自体を検討するべき時期である。

県土整備部長 長寿命化計画に基づき維持管理に努めている。

Q4 離島留学・山村留学

地域の方々の地元愛に支えられ、雄大な自然と過酷な環境の中で子供たちは親元を離れ力強く成長している。

山口知事 山村留学や離島留学は心からすばらしいと思う。山や島の学校はすばらしい教育環境が施され佐賀の誇るべき学校であり、子供たちの為に心からよいと思っている。地域の皆さんの思いに寄り添いながらしっかり支え、充実させていきたい。



青木の佐賀をゆく

やまばと山村留学

実際の体験をインタビュー！



山村留学

佐賀市立北山東部小学校の取り組み

山村留学とは、都市部などで暮らす児童が、親元を離れ、雄大な自然と過酷な環境の山村で生活する制度。やまばと山村留学は、北山東部小学校の生徒として短期(夏休み期間中2泊3日)または長期(1年)にわたって通学するもので、平成6年から始まる。地域の住民宅で子供を預かる「里親方式」と、借家に家族で住む「家族留学方式」の二つがある。



丸田元英
育友会会長
里親

飯島俊明
家族留学
保護者

青木かずのり
県議会議員
[2期] 自由民主党

対談日: 12月8日

青木 今日ありがとうございます。私も、やまばと山村留学の顧問を務めて長らく経ちます。議会でもこれまで取り上げてきました。今回、里親さんと保護者さんそれぞれの立場を体験されたおふたりからお話を伺いたいと思います。まず、丸田さんが里親を始めたいか教えてください。

丸田 私は自分の親が、山村留学が始まった時の第一回目の里親でした。その影響を受けて、機会があれば受け入れたいと思っています。里親を始めたいことを決めました。

青木 里親をされて大変だったことや嬉しかったことはありますか。

丸田 里子として受け入れた子供が夜にホームシックで泣いたりした時の対応ですね。何度か一緒に寝たりもしました。しかし、子供は順応性が高いですぐに慣れてくれました。

青木 子供たちを見られていてここが変わったなというところはありますか。

丸田 里子と私の子供もすぐに仲良くなり、受け入れた初日からお父さんと呼んでくれたことは嬉しかったですね。まるで自分の子供が増えたように感じました。

飯島 小さな学校ということもあり先生がマンツーマンで教えていただきました。そのおかげで子供たちの成長をすごく実感し、びっくりしました。少人数学級の良さを感じました。

青木 飯島さんはどうして家族留学をしようと思われましたか？

飯島 生徒の人数が少ないことで、お友達の様子が限られてくるという不安はありました。しかし、街の中心部の学校とは違う繋がりが山村留学にはあります。子供のみならず、保護者とも深い関係性が築かれる。それはこの場所ならではの良さだと思います。

青木 飯島さんはどうして家族留学を決めました。北山東部小の子供たちはフレンドリーで優しい子ばかりだなとその時感じました。また、ありがたいうちに住居もすぐに紹介していただいたのも決め手のひとつに

青木 最後に、山村留学の取り組みが今後どうなっていくといいとお考えでしょうか。

丸田 田舎の学校は常に統廃合の危機があります。小さな学校の良い部分を北山東部小は体現してきたと思います。北山東部小の良いところ、山村留学の良さを皆さんに知っていただいで、一人でも多くの子供たちに山村留学を体験してほしいです。

青木 山村留学は地域の皆様の地元愛に支えられ、また沢山のご苦労もあって、約30年にわたって続いてきた唯一無二の取り組みです。引き続き、この素晴らしい自発の地域づくりを応援していきます。ありがとうございます。



青木かずのり事務所

〒840-0842 佐賀市多布施1丁目11-12 1F
TEL0952-97-9323 FAX0952-97-9324

オフィシャルホームページ
<https://aokikazunori.com/>



議会での登壇映像を
ご覧いただけます

